

第二次あきる野市総合計画基本計画（素案）に対するご意見と回答について（本部版）

重点施策（たたき台）について（資料2-4）

頁	指摘事項	回答
3	資料2-4 重点施策の3ページ目だが、今回追加となった医療体制等の充実だが、もともと保健・医療体制等の充実なので「保健」も入れた方が良くと思う。	変更前 医療体制等の充実 変更後 保健・医療等の充実

総論：重点施策（資料5）

頁	指摘事項	回答
4～19	重点施策のページだが、先に重点施策のページがあり、その後各論に入っていく流れだが、重点施策と個別の取り組みの記載があるだけで、具体的な中身が不明である。各論を見るとどれが重点施策かわからない。記載内容に繋がりができるような流れに表記を工夫した方が良い。	現段階では、現行の総合計画の表記に合わせ、重点施策の後に各論入っていく流れで記載しています。

総論：SDGsと基本計画との関係（資料5）

頁	指摘事項	回答
20～23	SDGsの該当ページであるが、今後内容の量はもっと増えるという理解でよいのか。 素案の1ページのみでは物足りないと感じる。できれば調査実施時に国レベルの取組であったが、地方公共団体としてどのような関連性があるかという解説があった方が良くと思う。	ご指摘からSDGsの記載について内容を追記しました。

各論：第1章 都市整備分野（資料5）

頁	指摘事項	回答
28	・地震、水害、土砂災害、延焼に備えた防災まちづくりとなっている。「震災・風水害」と「災」「害」の並びなので違和感はない。 変更文案は、なぜ地震にしたのか。なぜ風水害を水害にしたのか。土砂災害を入れるために水害にしたのだと思うが。 また、延焼であるが、火災による延焼だと思うが、地震による延焼なのか。不注意による延焼か。延焼の原因は何か。「災」なら「災」で言	変更前 震災・風水害等に備えた防災まちづくり 変更後 震災・風水害、これらに起因する土砂災害などに備えた防災まちづくり

頁	指摘事項	回答
	葉を統一した方が良いかと思う。「震災、水害、土砂災害、火災」はどうか。延焼は木密が多いから、地域特性として対応が必要という言わんとしていることは分かる。委員の指摘の内容も理解できるが、言葉に少し違和感があったので指摘させてもらった。 ・委員の意見を踏まえ計画策定していくのは大切なことである。物事における原因と結果・事象という面において、土砂災害というのは地震における土砂災害もあれば雨による土砂災害もある訳である。延焼・火災についても地震によるものや事故、不注意の場合がある。原因とそれに伴う事象が横並びになっているから違和感を感じるのかもしれない。	
—	モノレールの件だが、目標年次１０年の基本計画であるが、１０年後モノレールがどうなっているか気になる部分である。 インフラ、ハード面に触れるべきものではないような気がする。ムーブメント・動きについては記載して良いかと思う。	ご指摘いただいた多摩都市モノレールの件につきましては、市の発展に寄与するものとして、現在も要望活動を継続しておりますが、計画期間中の１０年間での実現は非常に厳しく、また、市としても、実現に向け、より強力な取組を展開できる状況にないため、第二次総合計画の基本構想案、基本計画案では、「公共交通の充実」といった大くくりの位置付けとしております。 将来都市像という性質上、大きな方向性とともにも前向きな取組を打ち出したいところでありますが、様々な状況を考慮した上での記載でありますので、現状の標記のままとしています。

各論：第６章 行財政分野（資料５）

頁	指摘事項	回答
104	「平成２７年度以降の職員数は増加に転じています。」という言い回しは他人事のような感じがする。目的があって増やしている話だと思う。平成３０年４月１日現在の職員数とあるが、基準日がもっと最新でなくても良いのか。また、文章の冒頭は職員数の削減の話で始まったが、後段になると職員数の増加の話も出てくるので、文章が全体的に分かりにくい印象を受ける。言いたいことは職員数の偏り	変更後 平成２６年度までは、定員適正化等により職員数の削減を行ってきたことに伴い、平成１５年４月１日現在の職員数５５０人と比べ、令和３年４月１日現在の職員数は４６６人となり、８４人減少しています。一方、大量退職に伴う新規職員の採用等により、職員の年齢構成等に少なからず偏りが生じています。

頁	指摘事項	回答
	が生じているということかと思うので、うまく文章がつながるように構成を考えた方がよいかと思う。	

人口推計案（資料6）

頁	指摘事項	回答
—	総合戦略を作る際に、誘導人口、出生率の設定をしたと思うが、その係数などを使わず人口推計しており、総合戦略の推計の方法は継承されていないという理解でよいか。	今のところ継承はしていない。総合戦略を継承したやり方も方法の一つだと思う。
—	総合戦略を包含するというイメージからすると、総合戦略の人口ビジョンがあり、人口ビジョンに代わるものが人口推計になると思う。これまでの総合計画の人口推計はあまり関わらなかったと思うが、財源の面などを考えた際、上振れしておいた方が良い場合もある。国土強靱化計画を策定していくとなるときっちり実数を見ていくべきなのかという推計の考え方があると思う。推計を行う際にどこに目線を置くのかということを考える必要がある。	人口推計については、今回事務局案としてお示した段階になるので、今後、ご指摘いただいた内容も考慮しながら、推計方法について決定していければと思う。
—	採用した推計方法によって年齢別の人口推計も決まってくるかと思う。策定中の教育基本計画も内容を合わせてものにしていく必要があるので非常に重要である。人口推計の決定時期はどれくらいか。 この人口推計は年齢構成の区分ごとの人数は把握できるか。	資料5には載っていないが、お示ししていない基礎資料、データの中では出ているので、学校教育の対象となる年齢は網羅できると思う。頂いたご意見を踏まえ、細かい資料をご提示して、ご意見をもう一度いただくことになるかと思う。

全体を通して

頁	指摘事項	回答
—	個別施策との関連性について記載の予定はあるか。	今後記載する予定です。
—	市の基本となる計画という部分で数字の後に「.」がついているが、公用文ではつけないのが正しい。	ご指摘のとおり修正します。